

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2003-323347(P2003-323347A)

【公開日】平成15年11月14日(2003.11.14)

【出願番号】特願2003-28752(P2003-28752)

【国際特許分類】

G 06 F	12/14	(2006.01)
G 06 Q	50/00	(2006.01)
H 04 N	7/08	(2006.01)
H 04 N	7/081	(2006.01)
G 06 K	19/00	(2006.01)
H 04 L	9/32	(2006.01)

【F I】

G 06 F	12/14	3 2 0 E
G 06 F	17/60	1 4 2
H 04 N	7/08	Z
G 06 K	19/00	Q
H 04 L	9/00	6 7 3 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月30日(2006.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置及び情報処理方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マルチメディアデータを再生する情報処理装置において、
識別データを取得する取得手段と、
前記取得された識別データを、マルチメディアデータに隠匿的に埋め込み処理するため
のデータ埋め込み手段と、

前記データ埋め込み手段が識別データを埋め込んだ前記情報を出力する出力手段と
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記マルチメディアデータは暗号化されており、該暗号化されたマルチメディアデータ
を復号する復号手段
を更に備え、

前記データ埋め込み手段は、前記復号手段により復号されたマルチメディアデータに対
して、識別データの埋め込みを行う
ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記識別データは、前記情報処理装置ごとに付与されたIDであることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記情報処理装置は、更に外部から送信される情報を受信する受信手段を備え、前記受信手段は、情報記憶媒体から情報を再生して出力する情報出力装置と接続可能であり、当該情報記憶媒体から再生された情報を受信するためのローカル用インターフェース手段であり、

前記データ埋め込み手段は、前記ローカル用インターフェース手段を介して受信した情報に対して、隠匿的に識別データを埋め込む手段であることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記データ埋め込み手段は、デジタル信号のマルチメディアデータに対して、隠匿的に識別データを埋め込むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記データ埋め込み手段は、外部から取得されたアルゴリズムに基づいて、前記識別データをマルチメディアデータに隠匿的に埋め込むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項7】

マルチメディアデータを再生する情報処理方法であり、識別データを取得する第1の工程と、前記第2の工程において取得された識別データを、前記マルチメディアデータに隠匿的に埋め込み処理する第2の工程と、前記第2の工程において前記識別データを埋め込まれたマルチメディアデータを出力する第3の工程と、を備えることを特徴とする情報処理方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばコンピュータネットワーク、デジタル放送網、またはディスクなどの情報媒体のドライブから送信または出力された映像などの情報を、パソコンやテレビジョン受信機に出力して再生する情報処理装置及び情報処理方法に関し、特にカードモジュールを利用して情報の著作権を保護するための機能を有する情報処理装置及び情報処理方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の情報処理装置は、マルチメディアデータを再生する情報処理装置において、識別データを取得する取得手段と、前記取得された識別データを、マルチメディアデータに隠匿的に埋め込み処理するためのデータ埋め込み手段と、前記データ埋め込み手段が識別データを埋め込んだ前記情報を出力する出力手段とを備える。